

## 記録的な少雨のなか火災が「倍増」 ～日頃の行動を見直しませんか～

岡山市では、11月中旬からの降水量が平年比18%と極めて少なく、異常な乾燥状態が続いています。今冬(令和7年12月～令和8年1月)の火災件数は、昨冬同時期の約2倍と危機的な状況です。今後も降水量が少ない見込みのため、日頃の行動を見直し火災予防に努めましょう。

### 1 火災の状況(令和8年2月4日時点)

【今冬の火災件数】	63件(昨冬同時期34件／約2倍)
【死者数】	4人(昨冬同時期1人／4倍)
【出火原因の内訳】	
たき火	13件 (昨冬同時期4件／約3倍)
電気火災	10件 (昨冬同時期5件／2倍)

### 2 「記録的な少雨」による危機

気象庁のデータによると、11月中旬からの岡山地域での降水量は平年比18%となっており、この乾燥状態は、昨年3月に南区で発生した大規模林野火災発生時の気象状況を上回る危険な状況です。空気が非常に乾燥していることから、小さな火でも一度出火すると一気に延焼拡大する危険性が高まっています。

### 3 対策

同じような火災を繰り返さないため、特に急増している「たき火」については、以下の点に注意してください。 ※たき火は原則禁止です。

#### 【たき火火災を防ぐ3か条】

- ①燃えやすいものの近くでしない
- ②その場を離れない
- ③消えたかどうか絶対確認

また、住宅火災の原因として最も多い「電気火災」、特にリチウムイオン電池を使用した製品の取扱いについても十分注意しましょう。

#### 【問い合わせ先】

岡山市消防局 予防課 中村・繪面 直通086-234-1199 内線3772